

# 第13回 日本外科教育学会学術集会

## 開催趣意書

謹啓 時下ますますご清栄のこととお慶び申し上げます。

この度、2026年9月12日(土)、13日(日)に第13回日本外科教育学会学術集会(Surgical Education Summit 2026)をウインクあいち(愛知県名古屋市)にて開催する運びとなりました。現地およびオンラインのハイブリッド開催を予定しております。

2025年に京都で開催された第12回日本外科教育学会学術集会は、第11回と比較して演題数・参加者ともに倍増し、85題の演題発表と200名を超える参加者を迎える盛会となりました。外科、産婦人科、泌尿器科、整形外科、耳鼻咽喉科、口腔外科など幅広い領域からの参加を得ており、その内容も学生教育から専門医教育、多職種連携教育に至るまで多岐にわたり、本学会が外科系教育を俯瞰的に議論できる貴重な場として発展を遂げていることを強く実感いたしました。

こうした流れをさらに発展させるべく、第13回となる本学術集会では「未来へ紡ぎ、育む - 技と心の継承 -」をテーマに掲げました。技術や知識を効率的に次世代へと伝承する方策を探るとともに、患者に寄り添う姿勢、仲間と支え合う心、そして師弟の間で培われてきた態度や価値観をいかに育んでいくかについて、広く議論を深めたいと存じます。また、企業展示にご協力いただく皆様には1分間のプレゼンテーションの機会を設け、協賛企業を含め参加者相互が交流し、理解を深めることができるような機会を創出することも、本会の重要な役割であると考えております。

本学術集会を通じて、外科教育の未来像を多様な立場の参加者とともに描き、技と心の両面を次世代へと確かに紡ぎ、育む場となることを心より願っております。

今回の開催にあたり、可能な限り簡素にするつもりではございますが、助成金及び参加費のみでは本会の運営が成り立たないのが現状でございます。つきましては、本会の運営資金の一部につきまして、皆様のご支援を賜りたく、お願い申し上げます。誠に心苦しく存じますが、なにとぞ下記要領でご支援、ご協力を賜りますよう、よろしくお願い申し上げます。末筆となりましたが、貴社のますますのご発展を心より祈念申し上げます。

謹 白

2025年10月吉日

第13回 日本外科教育学会学術集会

会長 高見 秀樹

名古屋大学 消化器・腫瘍外科

日本外科教育学会 : <http://www.surgicaleducation.jp>











第 13 回 日本外科教育学会学術集会  
収支計画書

(収入の部)

項 目	税込金額(円)	内 訳
参加費	1,250,000	会員 5,000×150 名、非会員 10,000×50 名
共催セミナー	1,870,000	770,000×1 枠、550,000×2 枠
広告費	418,000	77,000×2 頁、55,000×3 頁、33,000×3 頁
バナー広告	110,000	55,000×2 枠
Web 配信広告	77,000	77,000×1 枠
展示	550,000	110,000×5 小間
寄付・協賛	300,000	
合 計	4,575,000	

(支出の部)

項 目	税込金額(円)	内 訳
会場使用料	1,200,000	ウインクあいち
事前費用	600,000	ホームページ・参加登録システム等
印刷費	750,000	抄録作成費
機材費	1,300,000	映像・音響機材、PC、配信機材等
運営費	520,000	当日運営人件費等
看板装飾費	50,000	看板・感染対策費用
会議費	100,000	幹事会、委員会など
郵送費	30,000	趣意書、ポスター発送費
雑費	25,000	事務費用・その他費用
合 計	4,575,000	